

令和3年度第2回義務教育学校校舎建設検討委員会議事録（要旨）

令和3年9月15日 19時～
山村開発センター 老人研修室

1. 開会

2. 委員長あいさつ

前回から少し時間がたってしまったが、その分、設計が煮詰まってきた。今回は変更点の説明などが中心になってくると思う。協議のところでもいろいろとご意見をうかがうことになる。校舎は開校までに整備するのが一番の目的である。

3. 報告

（1）現在までのまとめ

- ・ 建設計画図（案） **【資料1】**
最新の図面、教室の配置などが変更になっている。
- ・ 建設計画、予算状況 **【資料2～5】**

【増築及び改修内容】

増築部分のうち普通教室棟は鉄筋コンクリート増3階建て、9教室、トイレ、階段を整備。

玄関・昇降口棟は鉄筋コンクリート2階建て、1階に職員・来客用玄関、児童生徒昇降口、トイレ、学校図書館を配置、2階に多目的ホールと倉庫を配置。

既存校舎との接続部分にエレベーターを設置。

改修部分は職員室の拡張、1階トイレを職員更衣室に、2階及び3階トイレの改修、保健室を面談室に、1年生教室を会議室に、1階多目的教室を保健室に、3・4年生教室を家庭科被服室・調理室に、図書室を特別支援教室に、5年生教室を生徒会室及び音楽準備室に、音楽室を拡張及び防音対策、家庭科室を中学生用特別支援教室に、多目的教室棟2階の図工室及び郷土資料室を図工美術室及び技術室にそれぞれ改修する。また、老朽化した空調設備及び照明設備なども併せて改修したい。

教室数は現在の22教室から35教室の予定

【学校からの意見】（事前に聞き取り）

- ・ 会議室が狭い
- ・ 技術室と図工美術室の配置を入れ替えてほしい
- ・ 理科準備室は廊下側から入れるようにしてほしい
- ・ 3階に倉庫がない
- ・ 面談室は会議室と入れ替えてほしい
- ・ 壁に掲示物が張れるようにしてほしい
- ・ 教室後ろ側の出入口扉に透明の窓をつける

- ・理科室後ろに備え付けの整理棚を設置してほしい
- ・音楽室には使用頻度の高い楽器を置く
- ・特別教室は高さ調節できる机、いすを設置
- ・職員室はO Aフロアにしてほしい
- ・教頭、事務の机は来客対応が多いため廊下側に配置
- ・職員室は収納を多くとってほしい、書庫があるとよい
- ・デジタルサイネージの設置
- ・玄関と職員室の間の隙間が有効に活用できないか（カウンターや受付窓、放送室など）
- ・職員室から直接グラウンドへ出られるようにしてほしい
- ・多目的教室は掃除道具入れ、大きな戸棚があるとよい
- ・多目的教室の使用目的を明確にしないといけない
- ・プロジェクターとスクリーンを設置してほしい
- ・特別支援教室のロッカーや掃除道具入れは移動できるものがよい
- ・図書館から交流広場へ直接出入りすることができるか
- ・小中で図書館利用が重なった場合、空間を仕切る防音パネルなどが必要
- ・図書館の廊下側の壁は室内が見えるようにする
- ・図書館もO Aフロア、生徒系LAN配線が必要
- ・黒板よりホワイトボードがよい
- ・前期課程の教室は教員用の戸棚が必要
- ・黒板左側に収納棚、右側にタブレット収納スペース
- ・児童生徒用ロッカーは扉付きで奥行きがあるものが良い
- ・各教室にインターホンを設置
- ・掃除用具入れは教室前面でもよい
- ・画用紙など大きいサイズのものが入る棚の設置
- ・手洗い場を階段側にも設置できないか
- ・廊下に蛇口が6口ほしい
- ・自動で水が出る蛇口の設置
- ・理科準備室は現在の広さが必要
- ・理科準備室の出入口の間口は広いほうがよい
- ・理科室は実験などの作業スペースを確保する
- ・既存の手洗い場はあったほうがよい
- ・Wi-Fiまたは無線LANがあればテレビ配線は不要
- ・昇降口の傘立ては両側にあったほうがよい
- ・下足箱はフロア側でなく昇降口側にあったほうがよい
- ・トイレは洋式がよい
- ・体育館側の校舎ドアは引き戸がよい
- ・体育館にもトイレを設置してほしい
- ・PC室を間仕切り、サーバー室を設置
- ・多目的教室に出入口と校舎との間に施錠可能な扉が必要
- ・児童・生徒用の更衣室が各階にあるとよい
- ・玄関などにインターホンや防犯カメラの設置
- ・長靴が入る高さの下足入れ
- ・個人が使用できる研修室の設置（リモート会議・研修など）
- ・体育館の放送設備の更新（運動会などでも使用できるように）

- ・ 展示コーナーの材質は押しピンが刺しやすいものを
- ・ 各教室に天井扇の設置
- ・ 有事に備えて屋上へスムーズにアクセスできるようにしてほしい
- ・ 非常階段はプール側がよい
- ・ 出入個所にスロープはあるか
- ・ トイレは清掃しやすい床材を使用してほしい

いただいた意見は、予算と照らし合わせながら可能な範囲で反映させたい

【今後のスケジュール】

- ・ 9月補正に改修工事関係の予算を3億162万円計上（昇降口棟の解体工事含む）
- ・ 文科省から国庫補助金前倒しの打診があり、早期着工、早期完成を目指すため、令和3年度の予算計上となった。
- ・ 補助金が1億1千万円（補助率55%、補助対象上限2億円）、残りは過疎対策事業債
- ・ 今後増築部分の費用を予算計上（およそ7億円程度）
- ・ 現在設計中、準備が整い次第、工事発注したい
- ・ 発注時期は早ければ3月中を見込んでおり、年内に工事完了を目指す。

【意見及び質疑】

- ・ 最終的な図面の仕上げはいつか
→ 1月末ごろには最終的な設計にしたい
- ・ 体育館と校舎の段差はどうするか
→ 高さをフラットにし両側をスロープにする
- ・ 子供教室の出入り口をどうするか
→ 子供教室は一般開放向けに校舎側に施錠（シャッター）ができるので、新設する多目的ホールが望ましいのではないかと考えている。
- ・ エレベーターは一般開放したときに使用可能か
→ 可能である
- ・ 地域開放する時にシャッターは3階も閉めるか
→ 3階も閉める
- ・ 中庭の花壇はどうするか
→ スペースが狭くなるので使用できなくなると思う。今借りている農地を有効活用するのが現実的だと思う。
- ・ 交流広場は良いものになるように計画してもらいたい
- ・ 栽培活動するスペースは作れなくはないと思う、教室等に近いところなら観察活動がしやすい
→ 作れなくはないが今よりスペースは狭くなる
- ・ 区切りによっては保健室と多目的教室を入れ替えて4クラスを1つの階に置くことができる。教室と同じ規格にしておけば多用途に使用できる
→ 可能であるが何年か後に変わるかもしれない、どこまで必要か検討する
- ・ 多目的教室の目的を明確にしたほうがよい、教室配置の自由度を上げるなら、教室と同じ規格のものがあつたほうが使用の幅が広がる。
→ 支援学級を教室の半分の広さで4学級計画しているが、簡易的に仕切って

- 必要に応じて広く使用できるようにする方が融通が利く。
- 保健室は校庭側からの出入りをするなら耐震補強がしてあるので現在の場所しかない。校庭からの出入りが必要なければ他の場所でもよい
 - ・配置を変更して普通教室の隣に相談室が来るのはあまりよくない
 - ・各教室の中の配置や仕様を検討するにはこの図面だけで検討できない
 - 普通教室については一般的な仕様だと思うが特別教室については設計業者に提案していただき学校現場の意見を聞いて決めたい
 - ・既存校舎の改修工事を実施する段階で教室内の配置等は決めておかなければならない。作り付けのロッカーなども同様である。
 - 年末から年明け頃には設計に反映させなければ正確な金額がわからない。
 - ・既存校舎の改修内容がそのまま増築部分の教室のレイアウトに準用されるので、学校ときっちり詰めていただきたい。
 - ・業者から提案のあったものについて学校側で検討してもらいたい。
 - ・根雨小のプールの深さは中学生でも使用可能か
 - 現在の中学校と同じ深さである

【事務局から委員へ】

○木材の使用について

既存校舎は鉄筋コンクリート、増築部分も鉄筋コンクリートで計画している。内装などに木材を使用することができるが、検討委員会の意見を聞きたい

- ・金額が高くなるので限度はあるが、ある程度使用したほうがよい。
- ・木材を使用した学校は金では買えない良さがある
- ・壁材や床材など予算の許す限り可能な範囲でできるだけ木材を使用する

○職員室と普通教室が遠いが、防犯上、児童生徒の安全上カメラの設置などは必要か検討委員会の意見を聞きたい

- ・教室と職員室の間にインターホンを設置するか
 - 設置する予定である
- ・増築する教室棟の非常出口にセンサー式の防犯カメラを設置し、職員室でモニタリングできるようにしてはどうか。
- ・防犯カメラはあるに越したことはない。警察や専門業者と相談して決めたらどうか
 - 警備会社とも相談できる

4. 協議

(1) 工事期間中の根雨小学校児童の学習の場について【資料6】

今年度中に改修部分の発注を行いたい。また、増築部分は来年度を予定しているが前倒しなどもあり得るので早めに発注したい。できれば12月末までに完成させ、3学期には元に戻したい。

その時に根雨小学校児童の学習の場をどうするか検討する必要性が生じた。

選択肢は4つある

①現在の校舎で工事をしていない場所、工事が完成した場所を使用する。

工期の問題や安全確保が課題

②仮設校舎を建設する

試算すると1億6千万程度必要。校庭や体育館の使用制限や安全確保などが課題である。

③中学校の空き教室を使用

一つの教室を仕切って2クラスで使用、授業時間の違い、小学生と中学生の仕様の違いなど問題解決が必要

④黒坂小学校で一緒に学習

通学、行事などの問題と教職員が合同で業務ができるかどうかは課題

- ・根雨小の負担が大きい、日野中では小学校と中学校の生活の違いがある、黒坂小は一つの校舎に2つの学校が入るといことが考えられない
- ・根雨小としては仮設校舎を希望する
- ・現在の校舎でなんとかできないか
- ・工期が短いのではないか、計画が甘いのではないかと思う
→現在の校舎で移動しながらだと当然工期は長くなる
- ・各所属で持ち帰って協議してもらったほうがよい
→事務局としては黒坂小案か日野中案でお願いしたい
- ・仮設校舎の予算をお願いすることができないか
→見積もりはとったが金額が大きいため現実的ではなく、予算要求は難しいと思う
- ・町民テニスコートに仮設校舎を建設してはどうか
- ・仮設校舎を建設してもグラウンドが使用できない。環境整備や運動会もできない。黒坂小と合同で行った方が令和5年度につながるのではないかと思う
- ・それぞれの学校のやり方があり、職員室は別々、子供の生活ルールも違うなどこまごましたことで混乱が起こる。
- ・準備期間ということで一つの学校という考え方にならないか
- ・2校がまず合併し、その後に義務教育学校になるという計画ならよいが、急に言われても困る。
- ・来年の根雨小と黒坂小がどのような関係性でやっていくか学校間でも話し合った方がよいのではないか。保護者は良い環境で教育してもらえればよい
- ・子どもはどの環境でも対応できるし、保護者もそれなりに対応できる。問題は現場の先生方が一番やりにくく難しいと思う。
- ・結論はいつまでに出せばよいか
→保護者への説明も行いたいので次回の会（11月）までにそれぞれの考えをまとめてもらいたい
- ・始業式や入学式などはどうするか、運動会などはどうするか、生活ルールをどうするかなどどういったところに支障があるのか明確にしておくべき
→考え方として義務教育学校に移行する準備期間としてとらえれば、一緒にできることは一緒にやってもよいのではという考え方で協議をする。
- ・一緒にすることでよい面もあると思う
- ・中学校の場合、受け入れるスペースは大丈夫なのか
→空き教室をうまく使用することで一つの教室を分割することになるが、普通教室は確保できるのではないかと考えている。
- ・中学校と小学校のつくりは根本的に違うので子どもへの負担は大きい
→大きい問題だが、どこかにしわ寄せは行くので、どうすれば負担を少なくしながら教育効果を上げる方法を考えていただければありがたい。今までやっ

てきたことがそのままできるというのではなく、プラス思考で新しい一年という捉え方をしていただきたい。

- ・ 次回の会までにそれぞれの学校等で方針を決めていただき協議したい
→ 方針を決めて費用面など次のステップに向かいたい

(2) 義務教育学校に設置する設備・備品等について

設計業者から提案をいただいたものに対して各学校で協議していただきたい。次回の会までに学校とやり取りをする。

(3) その他

スポ少野球部の小屋について、移転の方法、場所、備品の保管場所など決めていただきたい。また外にトイレがあったほうがよい

5. その他

(1) 次回検討委員会

日時：令和3年11月 日 () 時

内容：①校舎建設案について

②工事期間中の根雨小学校児童の学びの場について

③その他